

信州大学医学部附属病院 形成外科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2019年8月6日

「頭部皮膚腫瘍摘出術における返し付き縫合デバイスによる創閉鎖の評価」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報公開が必要とされています。

倫理審査承認番号	4422
研究課題名	頭部皮膚腫瘍摘出術における返し付き縫合デバイスによる創閉鎖の評価
所属(診療科等)	形成再建外科学教室
研究責任者(職名)	細見謙登(助教)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2021年3月31日
研究の意義、目的	頭部皮膚腫瘍の創閉鎖時の新しい手術方法の有用性を明らかにすることを目的とした研究で、手術法の発展に貢献すると考えられます。
対象となる患者さん	2017年1月31日から2019年3月31日の期間に当院でこの方法による頭部腫瘍切除後の創閉鎖を受けられた方
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、身体所見、写真など
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、本手術方法の有用性について検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 細見謙登(形成再建外科学教室・助教) 電話: 0263-37-2833

既存の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分やご家族の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。